

第11回 コンクリート生産性向上検討協議会
議事要旨

1. 日 時 令和4年3月1日（火）15:00 ～ 17:00

2. 場 所 Web 会議

3. 議 事

(1) これまでの主な議論について

(2) 要素技術の一般化・規格の標準化の検討

1) 「コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン」他2ガイドラインによる生産性向上効果のフォローアップ調査

2) プレキャストの適用の検討（大型構造物）

(3) サプライチェーンマネジメント等の検討

1) 生コンクリート情報、帳票類の電子化について

2) 生コンクリートの全数測定による品質管理試験について

(4) 情報提供等

1) 近畿地方整備局プレキャスト化推進検討会における検討

2) 土木工事におけるプレキャスト工法の活用事例集

(5) 今後の展開

4. 主な議論の内容

<既存ガイドラインのフォローアップ>

- 各ガイドラインのフォローアップ調査を継続して実施するとともに、周知の徹底に努めることとする。

<プレキャストの適用>

- 働き方改革の推進等も考慮し、設計段階からプレキャストを採用できるよう、既存のガイドライン等を活用しながら検討を進めていくこととする。
- さらなる導入促進に向けた新たな評価指標について、積雪寒冷地といった地域特性を考慮するなど、幅広い視点で検討を進めることとする。

<生コン帳票類の電子化について>

- 当面は紙媒体と電子媒体の両方を可能とする運用となるが、現行のJISも勘案しつつ、電子化の普及拡大に向けた検討もあわせて進めていく。
- 施工者や発注者における効率化の議論だけではなく、生産者側にメリットがあるような体制づくりもあわせて検討する必要がある。

<品質管理要領改定について>

- 施工者側の品質管理の高度化・効率化と、受発注者間における効率的な品質管理データ共有の観点から、検査書類の効率化に向けた施工管理基準や要領のあり方に関する検討を進めていくこととする。

以上